

施策評価表

平成28年度分

① 施策コード	2・3・1	評価担当課	保健福祉課	総合戦略	行政経営	過疎
② 施策名	障がい者の生活支援の充実					
③ 目標	障がい者やボランティア活動の福祉サービスに満足している町民の割合			施策の内容	障がい者が生活・療養する上で必要となる様々なサービスの提供や経済面での支援を行うとともに、関係する機関や各種団体との連携による各種の情報提供や相談等の活動を通して、障がい者が地域で安心して暮らすための支援を推進します。	
④ 現状と課題	<p>◆ 障がい福祉サービスは、平成18年4月以降、それまでの障がい種別ごとの提供から障がい種別に関係なく提供される共通のサービスに変わりました。それによって、障がいを持った方を取り巻く社会情勢や環境は大きく変化していることから、多様な施策展開ときめ細かな支援が必要になっています。</p> <p>◆ 町内において福祉活動を行っている団体等には、その中心的役割を担っている「民生委員児童委員」や「丸森町社会福祉協議会」をはじめ、住民自治組織、老人クラブ、ボランティア組織などがありますが、情報共有や相互連携が十分でない状況にあります。</p> <p>◆ 今後は、障がいを持った方が豊かに暮らすことのできる地域社会の実現に向けて、多様化するニーズに対応し、地域ぐるみで支え合っていくための関係する機関や団体間の協力体制の整備が求められています。</p>					

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
福祉施設利用者中一般就労に移行した障がい者数	人	0	0	0	—	—	2	

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦ 構成事務事業の事業費の合計	27年度	28年度	29年度(計画)	30年度(計画)	31年度(計画)
	327,641	304,304	364,521	368,981	374,153

1年間の取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・随時、本人又は家族からの相談に応じ、関係機関と連携しながら必要なサービスや医療などの情報提供を行い、相談者の不安解消に繋がっている。 ・新たに利用できる事業所と契約を締結することで、希望する各種サービスを受けられる事業所が増え、障害を持った方が住み慣れた地域において自立し、かつ安心して生活を送ることができるよう支援を行った。 ・心身障がい者の医療費の一部を助成することで、経済的負担の軽減及び受診機会の確保に繋がっている。 	
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	<p>【◎】おおむね順調</p> <p>【○】いっそうの推進が必要</p> <p>【△】抜本的に見直しや改善が必要</p>

今後の取組

⑩ 今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・年々相談件数が増加傾向にあることから、適切に相談に対応できる人員の確保と体制整備についての検討が必要であると考えている。 ・関係機関との連携を密に適切な助言・指導を行い、本人又は家族の不安解消に繋がるよう取り組んでいく。 ・制度の更なる周知により利用者の増加を図り、希望するサービスが受けられるよう支援していく。
---------	---

⑪ 次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	【説明欄】
委員会評価	拡充	<p>【委員会意見欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、関係機関との連携により、本人・家族の不安解消に繋がるよう取り組むこと。 ・制度の更なる周知により、希望するサービスが受けられるよう支援していくこと。 ・心身障害者医療費助成の食事療養費について、助成の要否を検討すること。 ・障害者グループホームについて早急に検討・実施を進めること。